

- ◎ 火事をはやく消すために 消防署の人たちはどんな勤務きんむ（一日の仕事）になっているのだろう。

	1日目	2日目	3日目
	8:30	8:30	8:30
小室さん	きんむ	休み	きんむ
松本さん	休み	きんむ	休み



放水訓練くんれん



屋内しん入の訓練くんれん



分署での地域調査のまとめちいきちようさ

消防署の方のお話

榑倉消防署ぶんしよ塙分署 松本和則さん



火事が起きたらすぐかけつけられるように24時間体制で消防署には、交代できんむします。そのため、消防署には泊まれる部屋があります。朝8時30分に交代しますが、朝は、6時00分に消防車の1回目の点検。交代後すぐに9時00分に2回目の点検をします。日中（昼勤ちゆうきん）は消防署で待機たいきしているだけでなく、救助訓練やそう備・服かくにんさぎよう等の確認作業もあります。



消防署の中にある 泊まる部屋

「ジェットシューター」



塙町は、山々に囲まれた地いきでもあるため山火事が起きやすいところです。山火事の際には何本も消化ホースをつないで山おくまで消化活動を行うことはこんなんです。特に木の根の部分は一火が消えたと思ってもまた、燃え上がってくることもあるのです。そこで山火事の時に活やくするのが写真の「ジェットシューター」です。茅葺き屋根の消火の際にも使われて昔の建物をも守っています。